



難病のことみんなで考えよう

5月23日は「難病の日」

豊中市は、難病についてより多くの人に理解を深めてもらうため、5月23日の「難病の日」に合わせて、阪急豊中駅の駅前広場で駅頭啓発を実施します。

また、難病患者である市民などが実体験を語る啓発動画「難病のことみんなで考えよう」も公開しています。

本市には、約3,800人の難病患者が暮らしていますが、外見から分かりにくい場合や、症状や日常生活における困りごとに個人差があるため、周囲の理解を得にくいことがあります。この啓発活動を通じて、市民が難病について知る機会を広げ、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

難病の日

2014年5月23日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が成立したことを記念して、日本難病・疾病団体協議会（JPA）が毎年5月23日を「難病の日」に登録しました。

駅頭啓発・難病啓発動画の概要

1. 駅頭啓発

日時：5月23日（土）10時～12時

場所：阪急豊中駅 駅前広場

内容：啓発用ウェットティッシュの配布など

2. 難病啓発動画「難病のことみんなで考えよう Ver.2」

出演者：西村泉さん（脊髄性筋萎縮症）

松本溪太さん（ビッカースタッフ脳幹脳炎）

おうちの診療所院長・株式会社 omniheal

代表取締役 石井洋介さん（潰瘍性大腸炎）



詳細は市ホームページをご覧ください。

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kenko/kenko_hokeneisei/nanbyo/nanbyokeihatsudoga.html

【お問合せ先】健康医療部 医療支援課 担当：緑、中村

TEL：06-6152-7346

E-mail：nanbyou@city.toyonaka.osaka.jp